

整理番号：5－3

提言題名：コミュニティバス車内のイスの向きについて

【提言要旨】

「取手市コミュニティーバス」についての意見です。

現在運行している車両の座席は、進行方向に対して横向きの座席が大部分を占めます。横向きの座席に座って、酔ってしまったという声をよく耳にします。私自身何度も利用していますが、横向き座席に座ると必ず酔ってしまいます。新車導入？リニューアルなどの計画がありましたら、進行方向前向きの座席で導入して頂きたいです。

(令和7年3月 受付)

【回答要旨】

取手市のコミュニティバスでは、走行ルートにおける道路幅を考慮し、小型のバス車両を導入しております。また、路線バスを補完する交通手段として市内全域を走行することから、一定の輸送力が求められます。

現在使用している車両（西部ルートのEVバスを除く）につきましては、運転席後部の座席が進行方向に対して横向きの配置となっており、前向きの座席配置よりも多くの乗車人数を確保することが可能となっています。

また、横向きの座席配置により車内スペースを広く取ることができるため、利用者の動線確保がしやすくなり、乗降時の所要時間の短縮につながっています。その結果として安定したダイヤの運行につながっております。

一方で、ご指摘いただきましたとおり、コミュニティバスはご利用の皆さまにとって安全安心な運行を目指すべきものであり、車内環境の改善にも努めるべきと考えております。

しかしながら、座席配置の変更には車両自体の入れ替えが必要となるため、現時点で早急な対応は難しい状況です。

今後、車両の更新等を行う際には、今回いただきましたご提言を参考にさせていただきます、より快適な車内環境の実現に努めてまいります。

今後とも、本市の公共交通に対するご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(都市計画課 令和7年4月回答)